

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和元年度)

調査表

施設名	宮崎港マリナー施設宮崎県サンビーチーツ葉
指定管理者	マリンパークス
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
県所管部課	県土整備部 港湾課

1 施設利用状況

指標	R1	H30	H29	増減理由等
年間利用者数(人)	228,800	249,900	276,800	利用者数について、雨天や新型コロナウイルス感染拡大防止対策による自主事業の中止により、施設利用者が減少している。
海水浴期間のサンビーチーツ葉利用者数(人)	40,099	35,300	49,600	
コメント	「ビーチバーガーハウス」の営業や「サンドフラワーフェスタ」の開催等の臨海公園ならではの事業を展開し、利用者増の取組を行っているが、更なる当公園の周知を図り、イベント等での利用促進などにも取り組む必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R1	H30	H29	支出	R1	H30	H29
指定管理料	100,741	97,901	101,432	人件費	62,996	62,118	62,323
自主事業収入	3,240	3,500	3,573	需用費	30,940	33,695	32,171
利用促進事業	42,984	52,805	45,924	役務費	2,103	2,591	3,640
				委託料	20,409	19,333	20,724
				使用料等	20,207	20,231	11,661
				一般管理費	11,455	11,492	19,693
				自主事業支出	2,894	3,139	3,309
合計(①)	146,965	154,206	150,929	合計(②)	151,004	152,599	153,521
収支差額(①-②)	-4,039	1,607	-2,592				
コメント	指定管理者が管理する他の施設を含めた清掃、パトロールなどの業務効率化や大型機械導入による人件費削減、施設修繕の直営などの経費削減に取り組んでいるが、新型コロナウイルス対策で中止した利用促進事業や自主事業の収入減が影響し、収支がマイナスとなっている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和元年度に新たに取組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(毎日実施)
	保守・点検	クレーン・クルザー・プール点検(年次点検:年4回、保守点検:毎日)、電気設備(毎月)、公園内遊具の点検
	警備	夜間常駐警備、夜間巡回警備実施(日3回)
	修繕	トイレ修繕、マリナー設備等修繕、ビーチ施設等修繕、空調機修繕、ステンレス柵修繕等
	備品等管理	備品台帳の整備及び補修の実施
	安全対策	パトロールの実施(毎日)、航路水深検測、安全放送呼びかけの実施、マリナー航路情報の周知、津波警報発令時における情報伝達及び避難訓練の実施
企画運営業務	その他	釣り禁止区域への侵入者や夜間の不審者への指導と警察への速やかな通報の実施
	サービス提供体制整備	施設の年中無休化・開園時間延長の継続、ホームページの更新、公園パンフレット(英訳版)の作成、マリナー利用者への「利用者の手引き」の配布
	イベント等ソフト面充実	マリナー・ビーチにおける自主事業の実施(海フェスタ、親子つり大会、ビーチクリーン活動、シーカヤック体験会、国際ビーチテニス大会、ビーチヨガ教室、地引網体験会等)の実施、大型イベント(ビッグフリーマーケット)の開催
	施設設備等ハード面充実	ミスト・スプリンクラー設置(海水浴期間中)、無料休憩施設の開設、通年営業、AED設置及び安全教育の実施、掲示板の設置(マリンセンター、北ビーチ、艇庫)及び気象情報、潮汐情報、航路状況)の提供
管理運営体制	赤ちゃんの駅への登録	
コメント	利用者へ安心で安全な公園が提供できるよう、全施設において的確な人員を配置した。	
コメント	上下架クレーンの適切な維持修繕、津波避難訓練の実施、夜間常駐警備の充実、マリナー航路情報の周知など適切な管理業務に努めている。サービス面においても開園時間延長の継続や無料休憩施設の通年営業によるサービス提供を継続的に行うとともにビーチ開設期間の利便性向上などに取り組んでいる。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(公園ポスト、イベント時のアンケート、意見延べ193件)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
施設の維持・修繕・故障に関する要望	順次補修等を実施。
イベントに関する要望	今後のイベントへの反映を検討中。
施設充実に関する要望	対応策について関係者と検討中。

5 総合評価

評価コメント	臨海公園ならではのイベントの実施や利用促進企画事業を展開やサービスの充実など利用者増へ向けて積極的な取組が見られる。情報提供の工夫などについても迅速かつ効果的な情報発信に努めている。また、海水浴シーズンにおいては、ビーチへの適切な人員配置による事故発生未然防止や津波避難訓練、溺者救助訓練等の実施など利用者の安全確保に努めており、適切な管理運営が行われている。
今後の課題と対応	幅広い年齢層に向けたイベントの開催や冬期に利用者が少ないという課題があることから、実施するイベントの周知方法や内容の工夫・充実を図り、年間を通した更なる利用促進に繋げていく必要がある。